

氏名

得点



問1～22までの文章の時代を記号で答えよ。

ア、弥生 イ、飛鳥 ウ、奈良 エ、平安 オ、鎌倉 カ、室町 キ、安土桃山 ク、江戸 ケ、明治 コ、大正 サ、昭和

1	新しく開墾した土地を永久に私有できる墾田永年私財法が出された。重い税にたえかねた農民は寺社などへ逃げ込んだ。	
2	農民は荘園領主と地頭による二重の支配に苦しんだ。西日本中心に二毛作が広まった。	
3	蘇我氏が滅ぼされた翌年に、土地や人民をすべて朝廷のものとする公地公民の制度がとなえられた。	
4	全国の田畑の面積や田畑の収穫高が、同じ物差しとますで調べられ、検地帳に記録された。	
5	藤原氏など大貴族や寺社の元に、私有地である荘園が集まるようになった。さまざまな特権を求めてのことであった。	
6	農村の民主化をすすめるために農地改革が行われた。多くの小作人が自作農になった。	
7	水や土地をめぐる村同士が争いを繰り返した。稲の収穫には穂首を刈る石包丁が使用された。	
8	村の自治が行われるようになった。村のおきてが決められ、農民は村の運営のため寄合という会合を開いた。	
9	土地の所有者は地価の3%を現金で納めることになった。	
10	農民は庸や調などの税を都まで運ぶだけでなく、九州の守りである防人などの兵役も課せられた。戸籍を偽ったり、逃亡する者も出た。	
11	年貢の納入や犯罪の防止のために農家5～6戸からなる五人組を作らせ、連帯責任を負わせました。	

12	備中ぐわなど新しい農具が発明された。油かすやほしかなどが肥料に使われた。	
13	富山県の漁村の主婦たちが、米の安売りを要求したことから全国に米騒動がおきた。	
14	座を廃止し、自由に市場を開いてもよいとし、城下町の繁栄が図られた。	
15	牛馬耕が広まり、定期市が月に3回行われるようになった、	
16	ヨーロッパで大戦がおき、造船・海運業中心に輸出が増え、好景気になった。	
17	かんがい用に水車などが使われるようになった。地域から大名を追い出して8年間も自治を行った山城の国一揆などがおきた。	
18	殖産興業がとえられ、外国への輸出が増えた。このころの農家の商品作物から、当時の日本の重要な輸出品である生糸が作られた。	
19	「朝は早く起きて草を刈り、昼は田畑を耕し、晩には縄をない励みなさい。着物には麻や木綿以外を使ってはならない」	
20	甲斐のぶどう、紀伊のみかん、宇治の茶、三河の木綿など地域の特産物が生まれた。市は月6回開かれるようになった。	
21	五街道が整備されたことにより人々は有名な神社や寺院にお参りするようになった。伊勢神宮の宇治山田や善光寺の長野などは門前町としてさかえた。	
22	経済の民主化がとえられ、財閥解体が命じられた。また独占禁止法も制定された。	
23	史料を穴埋めせよ。「私たち農民は（ ）から仕事を命じられます。もし断れば女や子供の耳や鼻を切り落とすとおどされます」	
24	史料を穴埋めせよ。「私たち尾張国の者は（ ）である藤原元命 <small>ふじわらもとなが</small> の悪政を訴えます。きまりより多くの税を取り立てています。質の良い糸をだましとって自分のものにしていきます」	

25	史料を穴埋めせよ。「かまどには火の気もない。こんなに苦しいのに、むちを持った（ ）が戸口まで来て税を出せとわめいている」		
26	7世紀後半に、日本で最初の朝廷による貨幣と言われる（ ）が誕生した。		
27	奈良時代に、戸籍に基づいて6才以上の男女に土地を分け与え、死ねば返させた。これを（ ）の法という。		
28	奈良時代の税で、都で10日労働か、布を納めるかする税を（①）といい、地方の特産物を納める税を（②）という。	①	②
29	奈良時代の戸籍には、家族の中で女子が異様に多いものが見られるがその理由を答えよ。		
30	平安時代に、大貴族や大寺社の土地に与えられた特権は、税を納めなくてもよい（①）の権と国司の立ち入りを断る（②）の権がある。	①	②
31	鎌倉時代の貨幣は（①）銭が主で、室町時代の貨幣は（②）銭が主である。	①	②
32	室町時代の金融業者は土倉や（ ）である。		
33	室町時代に近江で、運送業者の馬借が先頭に立って徳政令を求める（ ）一揆を起こした。		
34	戦国時代、（①）国は100年間にわたって、（②）宗の農民により支配された。	①	②
35	豊臣秀吉の太閤検地によって、（①）がなくなり、全国の土地・百姓を武士が直接支配するようになった。米の生産高は（②）という単位で表された。	①	②
36	江戸時代の幕府や藩は年貢米をお金に替えるため、大阪などに（ ）を建てた。		
37	酒田など東北地方から、瀬戸内海を廻り大阪まで物資を運ぶ航路を（ ）航路という。		

38	江戸時代の同業者組合を(①)といい、老中の(②)により解散させられた。	①	②
39	江戸時代に、桐生の絹織物、野田のしょうゆ、灘の酒などが工業に集められた農民により分業で作られるようになった。これを()という。		
40	農具として、深く耕せる備中ぐわや、脱穀に使われる(①)や、もみがらやごみを吹き飛ばす(②)などが開発された。	①	②
	① 	② 	
41	江戸時代の年貢で収穫の5割を税とする意味の言葉を漢字で答えよ。		
42	江戸時代に貨幣の交換をしていた商人を()といい、現在の銀行のような仕事をしていた。		
43	江戸時代、きぎんの時に都市の貧しい人々は大商人や米屋をおそう()を行った。		
44	江戸時代の染料植物では、最上川流域の(①)や、阿波の(②)が有名である。	①	②
45	江戸時代の五街道について。江戸から太平洋側をまわって京都まで行く道を(①)道といい、江戸から群馬～長野と内陸を通り京都へ向かう道を(②)道という。	①	②
46	江戸幕府は道の要所に(①)を設けて出入りを見張った。箱根などが有名。江戸への鉄砲持ち込みと、江戸から女性が出ることの厳しい監視を「②」という。	①	②
47	江戸時代に蝦夷地から肥料にもなる(①)やこんぶなどを大阪に運んだ船を(②)という。	①	②
48	江戸時代に幕府や藩が新しい耕地を開墾することを(①)という。この結果、豊臣秀吉から100年ほどの間に耕地は(②)倍になった。	①	②
49	明治時代に、足尾銅山から流れ出た鉱毒は()川流域に広がり、大きな被害を与えた。		

50	日清戦争前後にせんい製品などの軽工業が発展し、日本の(①)革命が始まった。1901年には戦争の賠償金で官営の(②)が操業開始する。	①	②
51	第一次大戦のころには造船業中心に成金と呼ばれる大金持ちも現れた。このころの好景気を()という。		
52	敗戦後の日本経済が復活したきっかけは1950年に始まった朝鮮戦争の時の()でした。		
53	1980年代後半から90年代初頭まで、株価や地価が異様な上昇を続け、好景気になった。これを()という。		
54	世界恐慌の時に、農村では米や()の値段が下がって、小作争議がさかんになった。		
55	日本の高度経済成長が終わりを告げたのは、1973年に発生した()が原因である。		

氏名

満点 とれ太

得点


問1～22までの文章の時代を記号で答えよ。

ア、弥生 イ、飛鳥 ウ、奈良 エ、平安 オ、鎌倉 カ、室町 キ、安土桃山 ク、江戸 ケ、明治 コ、大正 サ、昭和

1	新しく開墾した土地を永久に私有できる墾田永年私財法が出された。重い税にたえかねた農民は寺社などへ逃げ込んだ。	ウ（743年、聖武天皇の時）
2	農民は荘園領主と地頭による二重の支配に苦しんだ。西日本中心に二毛作が広まった。	オ
3	蘇我氏が滅ぼされた翌年に、土地や人民をすべて朝廷のものとする公地公民の制度がとえられた。	イ（大化の改新）
4	全国の田畑の面積や田畑の収穫高が、同じ物差しとますで調べられ、検地帳に記録された。	キ（太閤検地）
5	藤原氏など大貴族や寺社の元に、私有地である荘園が集まるようになった。さまざまな特権を求めてのことであった。	エ
6	農村の民主化をすすめるために農地改革が行われた。多くの小作人が自作農になった。	サ
7	水や土地をめぐる村同士が争いを繰り返した。稲の収穫には穂首を刈る石包丁が使用された。	ア
8	村の自治が行われるようになった。村のおきてが決められ、農民は村の運営のため寄合という会合を開いた。	カ
9	土地の所有者は地価の3%を現金で納めることになった。	ケ（地租改正）
10	農民は庸や調などの税を都まで運ぶだけでなく、九州の守りである防人などの兵役も課せられた。戸籍を偽ったり、逃亡する者も出た。	ウ
11	年貢の納入や犯罪の防止のために農家5～6戸からなる五人組を作らせ、連帯責任を負わせました。	ク

12	備中ぐわなど新しい農具が発明された。油かすやほしかなどが肥料に使われた。	ク
13	富山県の漁村の主婦たちが、米の安売りを要求したことから全国に米騒動がおきた。	コ
14	座を廃止し、自由に市場を開いてもよいとし、城下町の繁栄が図られた。	キ（楽市楽座）
15	牛馬耕が広まり、定期市が月に3回行われるようになった、	オ
16	ヨーロッパで大戦がおき、造船・海運業中心に輸出が増え、好景気になった。	コ
17	かんがい用に水車などが使われるようになった。地域から大名を追い出して8年間も自治を行った山城の国一揆などがおきた。	カ
18	殖産興業がとえられ、外国への輸出が増えた。このころの農家の商品作物から、当時の日本の重要な輸出品である生糸が作られた。	ケ
19	「朝は早く起きて草を刈り、昼は田畑を耕し、晩には縄をない励みなさい。着物には麻や木綿以外を使ってはならない」	ク（江戸時代の御触書）
20	甲斐のぶどう、紀伊のみかん、宇治の茶、三河の木綿など地域の特産物が生まれた。市は月6回開かれるようになった。	カ
21	五街道が整備されたことにより人々は有名な神社や寺院にお参りするようになった。伊勢神宮の宇治山田や善光寺の長野などは門前町としてさかえた。	ク
22	経済の民主化がとえられ、財閥解体が命じられた。また独占禁止法も制定された。	サ
23	史料を穴埋めせよ。「私たち農民は（ ）から仕事を命じられます。もし断れば女や子供の耳や鼻を切り落とすとおどされます」	地頭（鎌倉時代の史料）
24	史料を穴埋めせよ。「私たち尾張国の者は（ ）である藤原元命 <small>ふじわらもとなが</small> の悪政を訴えます。きまりより多くの税を取り立てています。質の良い糸をだましとって自分のものにしていきます」	国司（平安時代の史料）

25	史料を穴埋めせよ。「かまどには火の気もない。こんなに苦しいのに、むちを持った（ ）が戸口まで来て税を出せとわめいている」	里長（貧窮問答歌、奈良時代）	
26	7世紀後半に、日本で最初の朝廷による貨幣と言われる（ ）が誕生した。	富本銭	
27	奈良時代に、戸籍に基づいて6才以上の男女に土地を分け与え、死ねば返させた。これを（ ）の法という。	班田収授	
28	奈良時代の税で、都で10日労働か、布を納めるかする税を（①）といい、地方の特産物を納める税を（②）という。	①庸	②調
29	奈良時代の戸籍には、家族の中で女子が異様に多いものが見られるがその理由を答えよ。	女子は税負担が軽かったり、兵役がなかったりしたので、男を女と偽って戸籍に登録したため。	
30	平安時代に、大貴族や大寺社の土地に与えられた特権は、税を納めなくてもよい（①）の権と国司の立ち入りを断る（②）の権がある。	①不輸	②不入
31	鎌倉時代の貨幣は（①）銭が主で、室町時代の貨幣は（②）銭が主である。	①宋	②明
32	室町時代の金融業者は土倉や（ ）である。	酒屋	
33	室町時代に近江で、運送業者の馬借が先頭に立って徳政令を求める（ ）一揆を起こした。	正長の土	
34	戦国時代、（①）国は100年間にわたって、（②）宗の農民により支配された。	①加賀	②一向（浄土真）
35	豊臣秀吉の太閤検地によって、（①）がなくなり、全国の土地・百姓を武士が直接支配するようになった。米の生産高は（②）という単位で表された。	①荘園	②石高
36	江戸時代の幕府や藩は年貢米をお金に替えるため、大阪などに（ ）を建てた。	蔵屋敷	
37	酒田など東北地方から、瀬戸内海を廻り大阪まで物資を運ぶ航路を（ ）航路という。	まわ 西廻り	

38	江戸時代の同業者組合を(①)といい、老中の(②)により解散させられた。	①株仲間	②水野忠邦
39	江戸時代に、桐生の絹織物、野田のしょうゆ、灘の酒などが工業に集められた農民により分業で作られるようになった。これを()という。	工場制手工業 (マニファクチュア)	
40	農具として、深く耕せる備中ぐわや、脱穀に使われる(①)や、もみがらやごみを吹き飛ばす(②)などが開発された。	①千歯こき	②唐み
	① 	② 	
41	江戸時代の年貢で収穫の5割を税とする意味の言葉を漢字で答えよ。	五公五民	
42	江戸時代に貨幣の交換をしていた商人を()といい、現在の銀行のような仕事をしていた。	両替商	
43	江戸時代、きぎんの時に都市の貧しい人々は大商人や米屋をおそう()を行った。	打ちこわし	
44	江戸時代の染料植物では、最上川流域の(①)や、阿波の(②)が有名である。	①紅花	②藍 ^{あい}
45	江戸時代の五街道について。江戸から太平洋側をまわって京都まで行く道を(①)道といい、江戸から群馬～長野と内陸を通り京都へ向かう道を(②)道という。	①東海	②中山 ^{なかせん}
46	江戸幕府は道の要所に(①)を設けて出入りを見張った。箱根などが有名。江戸への鉄砲持ち込みと、江戸から女性が出ることの厳しい監視を「②」という。	①関所	②入り鉄砲に出女
47	江戸時代に蝦夷地から肥料にもなる(①)やこんぶなどを大阪に運んだ船を(②)という。	①にしん	②北前船
48	江戸時代に幕府や藩が新しい耕地を開墾することを(①)という。この結果、豊臣秀吉から100年ほどの間に耕地は(②)倍になった。	①新田開発	②2
49	明治時代に、足尾銅山から流れ出た鉱毒は()川流域に広がり、大きな被害を与えた。	渡良瀬	

50	日清戦争前後にせんい製品などの軽工業が発展し、日本の(①)革命が始まった。1901年には戦争の賠償金で官営の(②)が操業開始する。	①産業	②八幡製鉄所
51	第一次大戦のころには造船業中心に成金と呼ばれる大金持ちも現れた。このころの好景気を()という。	大戦景気	
52	敗戦後の日本経済が復活したきっかけは1950年に始まった朝鮮戦争の時の()でした。	特需景気	
53	1980年代後半から90年代初頭まで、株価や地価が異様な上昇を続け、好景気になった。これを()という。	バブル景気	
54	世界恐慌の時に、農村では米や()の値段が下がって、小作争議がさかんになった。	まゆ	
55	日本の高度経済成長が終わりを告げたのは、1973年に発生した()が原因である。	石油危機(オイルショック)	